

平成 29 年 7 月 31 日

平成 29 年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志学園
九州中央リハビリテーション学院
学校関係者評価委員会

学校法人 立志学園 九州中央リハビリテーション学院 学校関係者評価委員会は平成 28 年度自己点検・自己評価報告書に基づき、学校関係者評価委員会を開催いたしました。このことにつきまして下記のとおり報告いたします。

1. 学校関係者評価委員会委員

学外委員（順不同）

- 三宮克彦様 医療法人社団寿量会 熊本機能病院 理学療法科科长
- 田尻陽介様 社会福祉法人双友会 おおづセンターホーム 管理者
- 津田恵美様 公立玉名中央病院企業団 公立玉名中央病院 看護部長
- 吉田一美様 向山地区第 3 町内 自治会長
- 石橋一隆様 九州中央リハビリテーション学院後援会会長（学生保護者代表）
- 松本英介様 九州中央リハビリテーション学院同窓会会長（卒業生）

2. 学校関係者評価委員会議事録

- 開催日時 平成 29 年 7 月 31 日（月）18:00～17:10
- 開催場所 九州中央リハビリテーション学院 1 号館会議室
- 出席委員 三宮克彦、田尻陽介、津田恵美、吉田一美、石橋一隆
- 学院側出席 志垣伸太郎、高濱照、藤井浩一、山崎孝文、福山貴美子、
（事務局） 野島謙一郎、石崎聖英
- 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

評価項目	評価・意見
基準 1 教育理念・目的・ 育成人材像等	・教育理念・目的・育成人材像等に関しては適正に評価されています。
基準 2 学校運営	・適正に評価されています。
基準 3 教育活動	・適切に評価されています。 【学院補足】・3-6-1～3-7-3 学科によってアドミッションポリシーが作成していないところもあったが平成 28 年度は全学科作成された。 ・3-10-12 教員に対する教授力では教員資格を取った時のままでその後の研修に参加

	できていないので評価を3とした。
基準4 教育成果	<ul style="list-style-type: none"> ・復習会には成績下位に絞った方がよかったかもしれない。次年度検討するとなっているが、平成28年度はどのように行われたのか。 ・【説明】 当初、復習会の目的は、分からないところを少人数の場で質問するため。参加者の中には成績上位の学生もいてその学生が質問をして成績下位の学生が質問できなくなっている。もっと少人数(2~3人)にしないと質問をしてこないように感じられる。 ・分からないとことが分からない学生がいるのでは。 ・アドミッションポリシーが学生のどのラインに設定されているのかの見直しも必要とを感じる。 ・この学院の学生に対する手厚さは素晴らしいと思います。子供を大学に進学させたが大学ではこんなに手厚く指導されていないと感じる。 ・卒業生の情報が留まっているとなっているが、卒業生の情報を収集する必要があるのか検討し、無ければ評価の見直しをされた方がいいのでは。
基準5 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生が居られるみたいですが、先日他の学校の留学生と交流を図ったがなかなか言葉が通じなかった。そういう意味では留学生の受け入れも大変だと思われます。 ・適切に評価されています。
基準6 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に評価されています。
基準7 学生の募集と 受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・大学だと手厚い指導ができていないため専門学校はその部分を強みにしていい学生を取られるようにしたらいいと思います。
基準8 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・財務に関しては安定している。
基準9 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に評価されています。
基準10 社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本地震のボランティア活動や地域のイベント等に学生が出向いたり、学院の施設を使用できたりという部分は大きな社会貢献である。
自己点検・自己評価 全体を見て	<ul style="list-style-type: none"> ・評価自体が見やすく整理されている感じを受けよく評価されていると感じます。 ・学院が学生に対して非常に一生懸命教育に対して取り組んでいることが分かりました。 ・自己評価は細かに評価されており、学院自体で組織の見直しをされるのが学生のために役立つことと思います。